

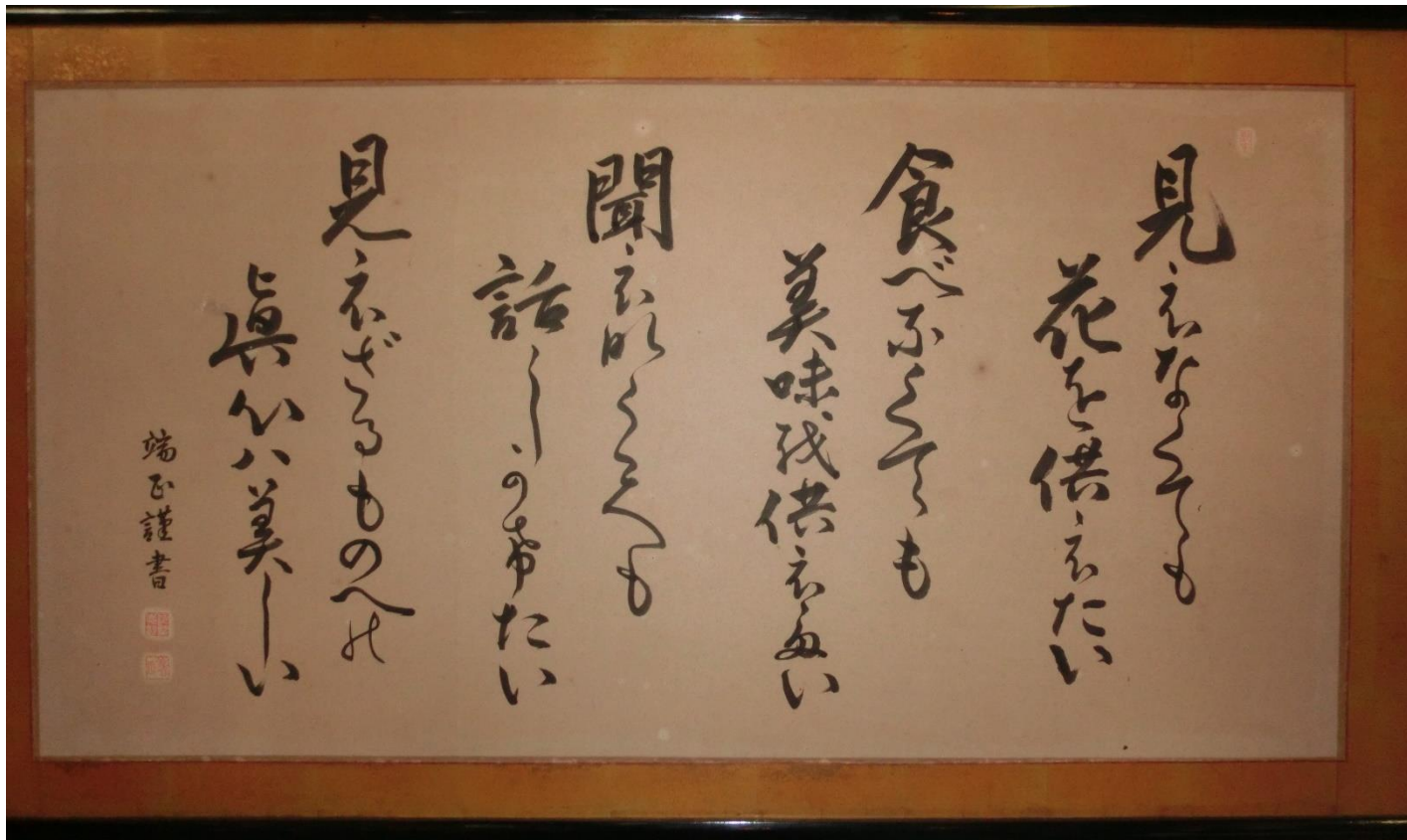


高德寺だより

令和5年11月1日 148号
曹洞宗 高德寺
TEL 0238-42-2859



ご先祖さまへ「供養の心」を捧げたい



昭和42年 位牌堂落慶記念として故 河野志きさんより寄贈されたものです

見えなくても花を供えたい

食べなくても美味をそなえたい

聞こえなくても話しかけたい

見えざるものへの真心は美しい

◆すっかり寒い時期になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。夏の猛暑もいつの間にか過ぎ去り冬期間を迎える準備が着々と進む今日この頃です。また新型コロナが5類に引き下げられて以来、社会の受け止め方も変化し、御法事等も増え家族でお参りする姿も以前に戻りつつあります。さて、写真は『高德寺だより』で先代泰雄大和尚が取り上げていた題材ですが改めて、「供養の心」について皆さんと考える機会になればと思い掲載いたしました。今、現代社会に生きる私たちの周りには必要以上に情報が溢れ、インターネットや SNS 等の閲覧も極めて容易になり、無意識のうち周囲に強い影響を受けるようになりました。また、知らず知らずのうちに風潮に感化され、根拠のないものや形に現れないもの、特に見えないものへ対し、畏敬の念が行き届かなくなっているようでありませぬ。加えてコロナ禍で過ごした3年の間に、人との交流の場面が多く失われ、繋がりや「ご縁」を大切にする精神も大きく変わってしまったような気がいたします。私たちが生きていく中で「信仰」から育まれる「心の豊かさ」は決して目に見えるものではありません。加えて、「愛情」や「願い」「心配り」等も同じように形に現れませぬ。でも、私たちは誰しもしっかり肌で感じるすることができます。さらに人の発する「言葉」には数値化できませんが、ぬくもり、温度を感じます。いずれに

しても生きていく中で大事なものは目に見えないものが多くあり普遍的な心のありようだと思うのです。今日一日の私の命は、昨日までのご先祖さまから脈々とつながる命の集大成であり、縁によって導かれるものに違いありません。常に、自分の足元を照らし謙虚に、そして今ここに生きる事の尊さに感謝し『見えざるものへの真心』を大事にしたいと思います。みなさん、それぞれのご家庭にとっての教訓となれば幸いです。合掌



高德寺の御朱印が出来ました

写真のようにこの度、高德寺の御朱印を制作いたしました。昨今の御朱印ブームもあり県内外から御朱印帳をもって参拝に来られる方も多く、皆さんの要望に応えることになりました。住職が不在のときにも対応できるようにと頒布の準備を進めております。11月19日の総会まで準備を整えますので、是非に菩提寺の御朱印をお求めいただけますようご案内申し上げます。一部300円にて頒布いたします。

■秋深まり紅葉の季節。情緒ある四季の彩を見せる高德寺。境内の紅葉も見ごろの時期になりました。

写真は一昨年に住職が撮ったものです。なかなかシャッターチャンスはありませんが、一年を通じて多くのカメラマンが足を運びますので、皆さんの中にもこれは！というお寺の写真をお持ちの方もいらっしゃるかと思います。是非にご一報いただきたいと思います。

さて、今年の合同法事は下記のようにさせていただきます。ご先祖様に日頃の思いを伝えて頂ければ有難く思います。



合同法事のご案内



ホームページ QR コード

日 時： 12月3日（日）

時 間： 午前11時～ 高德寺本堂にて

申込み： 11月30日（木）までお電話下さい。0238-42-2859

その他： 塔婆代1本につき千円お願いいたします。